

第4回 多治見市総合計画策定市民委員会 会議録

日 時	令和5年7月11日(火) 15時15分～17時30分
会 場	多治見市役所本庁舎 2階大会議室
出席委員	齊藤徹史委員(会長)、古海洋介委員(副会長)、河村親子委員、工藤順子委員、佐伯博光委員、坂崎誠子委員、澤田恵未委員、白石清委員、瀬古梨絵子委員、田頭孝生委員、長谷川哲委員、林戸達美委員、古畑佑樹委員、堀尾憲慈委員、村上裕二委員 (委員15名中15名出席)
欠席委員	なし
事務局	桜井企画部長、皆元企画防災課長、島津課長代理、山田課長代理、伊藤総括主査、藤田総括主査、村瀬主査、安田主査
傍聴人	なし

会議録要旨

1 企画部長挨拶

2 議題(1) 第8次総合計画基本構想(原案)への質問及び回答について

会長 議題(1)第8次総合計画基本構想(原案)への質問及び回答について、事務局に説明を求める。

事務局 (資料1「第8次総合計画基本構想(原案)への質問及び回答」に沿って説明)

会長 ただ今の説明に質問はあるか。

委員 (質問なし)

3 議題(2) 第8次総合計画基本計画(骨子案)について

会長 続いて、議題(2)第8次総合計画基本計画(骨子案)について、事務局に説明を求める。

事務局 (資料2「第8次総合計画基本計画(骨子案)」、資料3「市長マニフェストへの対応事業一覧」、資料4「第8次総合計画討議課題集課題への対応事業一覧」に沿って概要及びグループ討議の進め方を説明)

会長 ただいまよりグループ討議を行う。

<グループ討議の開始>

政策の柱1 子育て世代が選び、住み続けたいくなるまちづくり

施策2 事業⑤「給食費無償化を検討し実施します」

出産前から ・「第2子」の定義について、検討が必要である

の切れ目の ・「第2子」に限定すると、クラスの中で差が生じるため、公平性を確保してほしい

ない支援 ・市長マニフェストにある「第2子以降」について、「第2子」の定義により無償化の対象から外れる方の理解を得ることは難しいのではないか

・未満児の給食費は、保育料に含まれるため、既存の制度との調整が必要ではないか

・子どもを持たない選択をする方もいれば、子どもは1人という方もいる。市民の理解が得られる制度にしてほしい

施策3 事業③「部活動の地域移行化に伴うジュニアクラブ活動を推進します」

親育ち・子 ・過去は全ての生徒が部活動に参加していたが、現在は部活動の選択肢が少なく、活

育ちの支援	<p>動時間も極僅かである。何かに打ち込んだという経験が大切である。部活動の充実も含め、環境を整備してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに余裕のある家庭だけでなく、誰もが参加できる制度にしてほしい ・ジュニアクラブへの参加は、費用面だけでなく、送迎や当番など運営面での負担もあると聞く。負担が軽減されないと、参加できる子とできない子が生じるのではないか
<p>施策4 保育・幼児教育の充実</p>	<p><u>事業①「幼稚園・保育園全体のあり方を検討し、運営方針を決定します」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治体は、こども園化が進んでいる。幼稚園は大幅に定員割れし、保育園は希望する園に入れない状況であるため、笠原校区だけでなく市全体でこども園化を積極的に進めるべきではないか ・2園を統合する際、定員が2園の合計より少ないことがあるが、需要がある中で定員を減らす理由は何か。また、2歳児の定員が特に少なく、1歳児がそのまま進級するため、2歳から保育園に入所したくてもできないことがある。園全体の定員も大事だが、年齢別に考えて、特に入園が難しい年齢の受け皿を拡大するべきではないか ・保育園に入所できるかといった懸念を持つことなく、妊娠・出産を迎えられることが大切ではないか
<p>施策5 学校教育の充実</p>	<p><u>事業⑤「保育所や医療施設等での病児・病後児保育対応を進めます」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育の需要はあるが利用実績が少ない。子どもは頻繁に体調を崩すため、仕事と子育ての両立に向けて充実できると良い。ただし、体調が悪い子どもを慣れない場所に預けることに不安と抵抗があることも事実である <p><u>事業①「幼保小中一貫教育を推進します」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠原校区を皮切りに小中一貫教育は進むが、幼保、特に保育園は難しい。幼稚園と教育委員会はつながりが強いが、保育園は異なり、幼保の研修も別々である <p><u>事業⑤「ICTを活用した教育を推進します」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市と比較し、本市はICTの活用が進んでいる。授業参観の際は、教員も生徒も端末を難なく操作し、十分に活用できていた ・ICTの活用は進めてほしいが、子どもたちの負担も考えてほしい ・タブレットがとても重いため、軽量化できないか
<p>施策6 保育・教育に関する体制強化</p>	<p><u>事業⑩「学校や家庭での食育を進めるとともに、市内産の農産物の活用を推進します」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが、農産物ができる様子を学び、それを食べていることを知るの大切である。市内産の農産物は少ないと思うが、積極的に活用してほしい <p><u>事業①「公私立保育園・幼稚園の保育士・幼稚園教諭を確保します」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立園の保育士は負担が大きすぎる。サービス残業や持ち帰りでの仕事が当たり前では、若い保育士の離職は止まらない。仕事の持ち帰り禁止など、ある程度強く指導しないと働き方改革は進まないのではないか。また、経済的な処遇改善だけではなく、休暇の取りやすさやプライベートの時間確保なども同じぐらい重要である ・保育士や幼稚園教諭は、子どもが好きだからその職業を選んでいるが、中堅職員や園長の働き方を日々見ている中で、あと何十年も働き続けなければならないと感

じ、仕事が好きだけど辞めるという選択をせざるを得ない。人手不足が現場の負担を大きくし、更なる離職者を生んでいる面がある

- ・私立園ではICTの活用も含め、働き方改革が進みつつある。公立園でも働き方改革が必要ではないか
- ・公立園の先生が私立園の先生のレベルを引き上げている面もあり、公立園の先生の資質の維持・向上にはこれまで以上に取り組んでほしい
- ・幼稚園と保育園の間の人事異動が定期的にあるが、勤務時間や休暇の取得に大きな差があり、異動になる前に離職するケースがある
- ・人材バンクのようなものがあると良いのではないか。なお、岐阜県が人材バンクをつくっているが、登録者が少ないのではないか

政策の柱2 にぎわいを生み出すまちづくり

施策1 事業①「コワーキングスペース設置の検討を含め、創業意欲の高い事業者の起業・創
市内産業の 業支援及び伴走型フォローアップを行います」

支援 ・「コワーキングスペース設置」という具体例は必要か

- ・「事業者」とあるが、創業意欲をもっている段階ではまだ事業者ではないので、7次総同様に「市民」ではないか

事業②「社会情勢の変化を柔軟に突破していくため、新事業の補助やビジネスマッチ
ング等の機会を設け、中小企業の振興を支援します」

- ・中小企業の振興を支援、とあるが、振興の対象は経済や地域等、もっと規模が大きいのではないか
- ・成長をサポートする、または支える、という書きぶりはどうか

事業③「安定した雇用環境を実現するため、人財の確保と事業継承に向けた採用支援
等、事業者積極的に働きかけます」

- ・「人財の確保」と「事業継承」は並列でなく、事業継承はM&A（合併買収）によるものが多い
- ・事業所にとって人手が常に足りている状態がベストであるため、「安定した雇用環境を実現するため」ではなく「労働力不足を解消するため」としてはどうか

事業④「ふるさと納税の強化を推進し、産業振興と地域の活性化につなげます」

- ・ふるさと納税の産業振興と地域活性化とは何か
- ・ターゲットが地域になっているため、企業のメリットにつながるような事業名にしてはどうか
- ・返礼品のラインナップの充実や質の向上等、更に具体的に書いてもいいのではないか

施策2 事業③「産業と文化の両面から美濃焼を担う「人財」の育成と国際交流を推進します」
地場産業の

- ・国際交流の推進とは具体的に何か

支援 事業④「魅力的で安心・安全な陶磁器の製造の支援を行い、その成果を効果的に情報
発信します」

- ・7次総で「安心・安全で魅力的な」としていた表記を「魅力的で安心・安全な」と

入れ替えた理由は何か。安心・安全の指すところは何か。言葉として必要か
・情報発信の対象を、「魅力」と「安心・安全」に分けて書いてはどうか

事業⑤「やきものづくりに携わる人財の安定的な育成・支援のため、陶磁器意匠研究所のあり方を検討し、今後の方針を決定します」

- ・「あり方」と表記することによって、施設の存続の有無に関係する事業のように思える
- ・意匠研究所は、地場産業振興のためにもこの地域に必要な施設であるので、書き方を検討した方がよい

施策3 事業②「企業への進出支援とアフターフォローにより、経済波及効果と地域交流の拡大を図ります」

- ・企業誘致は雇用の場を増やすことできるが、地元企業の人手不足を進行させる側面もあるのではないか
- ・給与等の雇用条件において、必ずしも誘致企業が優れているとは限らない。各事業所への人財確保に向けた支援が必要である

施策5 事業①「まちづくりリノベーション基金やファンドを活用し、中心市街地の空き店舗を利活用する取組等、さらなる活性化を実施します」

- ・「活用」という言葉を繰り返しているため、「基金やファンドを通じ」、または「基金やファンドにより」としてはどうか

施策6 事業②「観光資源のネットワーク化を進め、観光客に魅力のあるまちづくりを進めます」

- ・観光資源のネットワーク化とは何か
- ・情報発信の方法として、SNSやインスタグラム等複数あるが、観光客が得たい情報に確実にたどり着けるような情報のネットワーク化だと理解している

事業③「ロケツーリズムを活用して観光協会と連携した観光誘客を促進します」

- ・今後8年間ロケツーリズムの活用だけでの誘客の促進は困難ではないか。飽きさせないよう新規コンテンツの投入が必要ではないか。アニメ「やくも」に一定数のファンはついている

事業④「地域の伝統的なまつりやイベント等、にぎわい創出の活動を支援します」

- ・伝統的なまつりとは何を指すか
- ・陶器まつりは78回目、多治見まつりは51回目を迎えており、十分伝統的だと考える

政策の柱3 元気で安心して暮らせるまちづくり

施策1 事業②「喫煙対策について市民と共に健康及び安全な環境づくりを推進します」

- 健康寿命の延伸・医療体制の充実
- ・例えば増税（課税）や罰則強化など、喫煙防止対策を強化する取組をもっと進めてはどうか
- ・タバコを制限している地区もあるが、まち全体の環境整備として取り組んでいくとよい

事業④「市民病院の医療体制を充実するとともに、夜間・休日の初期救急医療体制を継続します」

- ・一次医療、二次医療、三次医療が整備されている状況は多治見の魅力であり、維持してほしい
- ・市民病院と県立多治見病院の役割が明確でないと感じる

施策2 事業①「元気な高齢者や関係団体と連携し、総合事業や地域での支え合い活動を推進します」

- ・施策の表題の「支援」から「高齢者＝弱者」のイメージを持つ。また、「元気な高齢者」で「元気な」とあると、「高齢者＝元気がない」とのイメージがわく。最近では65歳以上の高齢者でも、現役で働いている人や地域で活躍する人など、元気な人が多いが、そのような人が活躍できる場がない。市が、高齢者の活躍の場を提供するような取組があるとよい

施策3 事業③「障がい者の地域生活の場を充実させるため、グループホームの整備を支援します」

障がい者
(児) 支援

- ・グループホームの設置状況など、分からないことが多い。ニーズは高いため、グループホームが担う役割や市が行う支援策などを更にPRした方がよい

事業④「バリアフリーの推進とともに、障がい者に対する市民の理解を促します」

- ・自立した生活につながるよう収入確保策などに取り組んでほしい
- ・利用者の収入増につながるよう、優先調達の取組は積極的に行ってほしい

施策4 事業①「市民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応するため、重層的支援体制を整備します」

相談支援体制の充実

- ・福祉に関する相談では、相談先や手続きの流れ等、わからないことが多い。窓口のワンストップ化（一本化）が進むと良い

施策5 事業⑨「自主防犯活動を支援するなど、地域の安全向上に努めます」

地域防災・防犯対策

- ・地域防災について、地域の自主的な活動に任せているところがあるが、ある程度義務的なものとする必要ではないか。「地域のために活動する」意識の醸成が必要である

- ・地域防犯対策として防犯カメラの整備等、色々な取組はあるが、「子どもの安全対策」という点での取組が見えてこない。安心安全な通学路の整備にも取り組んでほしい

- ・「自主防犯活動を支援するなど、地域の安全向上に努めます」の文末は「安全向上に努めます」を「安全対策を進めます」としてはどうか

施策6 事業③「消防団員の加入促進を図り、地域消防力を強化します」

消防体制の充実

- ・消防団の人財不足について、子どもの頃から関心を持てるような施策が重要ではないか

政策の柱4 多様なつながりで、豊かな暮らしを育むまちづくり

施策1 事業①「地域住民や各種団体と連携し、地域力活動を支援します」

市民活動支援

- ・「地域力活動」と「地域活動」の違いは何か。「地域力」という言葉に馴染みがない

事業②「自治組織の活動が持続可能になるように支援します」

- ・新規事業として、市の前向きな姿勢を感じる。区長会代表として、事業に漏れはな

いと考える

事業③「NPOなど自主的な市民活動組織の設立と活動を支援します」

・対象を「組織」に限定して良いか

施策2 事業②「たじみ男女共同参画プランを推進し、市民、事業者などの意識向上を図りま
人権啓発 す」

・「男」「女」のみでなく、あらゆる性の多様性を網羅した内容となるよう留意が必要

施策3 事業②「ハイレベルな競技に触れる機会を提供するとともに、競技スポーツを強化支
スポーツ振 援します」

興 ・「ハイレベルな競技」とは何か。

政策の柱5 持続可能で快適に暮らせるまちづくり

施策1 事業③「自然環境と生物多様性の保全に努めます」

環境との共 生 ・自然環境や生物多様性の保全は企業誘致とは相反するものと考え、どのように
対応されるか

事業⑤「市民・事業者・行政が連携し、きれいなまちづくりを進めるとともに、廃棄物の不適正処理対策を進めます」

・市民がボランティア清掃をするときの市のサポート（ボランティア袋の配布等）について、知らない市民も多いので、周知に力を入れてほしい

事業⑦「東濃3市による広域ごみ焼却施設の整備を検討します」

・ごみ焼却施設があと10年程で限界を迎えると初めて知った。是非3市で進めてほしい

施策2 事業①「検針、窓口及び徴収業務を委託化するとともに、新システム等を構築し、上
下水道の安 下水道事業の経営を効率化します」

定供給 ・民営化すると利益追求により料金が上がることが予想される。民営化だけは絶対に
しないほしい

施策3 事業③「汚水処理施設を統廃合し、下水道事業の運営を効率化します」

下水道の安 定運営 ・汚水処理施設の統廃合は具体的に何をする予定か

施策4 事業①「市の管理する河川の改修及び流出抑制施設を整備し、治水対策を進めます」

防災対策 ・平成23年の豪雨では多治見も大変な被害にあった。土岐川との合流部の強化などは
されているか

・土合橋の拡幅、高田11丁目から土合橋までの道路の拡幅は災害対策にもつながる
のではないか

事業④「大規模盛土造成地の安全対策を行います」

・生田橋付近で実施している埋め立ては適切に実施されているものか

施策5 事業①「ネットワーク型コンパクトシティの形成に向け、都市計画による市街地形成
土地の適正 を促進します」

利用 ・ネットワーク型コンパクトシティの考え方は理解できるが、自然とまちの境界である
里山の整備などが今後重要と考える。里山の整備に焦点を当てた取組を進めてほ

しい

事業②「立地適正化計画に基づき都市機能・居住誘導を促進します」

- ・コンパクトシティと聞くと、まちなか以外には住んではいけないという感覚を受ける。そういった誤解を与えないように気を付けてほしい

事業③「地籍調査を計画的に実施し、土地の実態把握に努めます」

- ・地籍調査は、土地境界の適正化を図る重要な事業であり継続してほしい

施策6 移住定住促進 事業①「市の魅力を発信することにより、子育て世代を中心とした移住定住策を推進します」

- ・多治見の魅力を伝える方が重要と考える。もっとPRを展開してほしい。また、対象を絞った発信も展開できるとよい
- ・移住定住に関する補助金は多治見市も実施しているか
- ・まちなかの移住もちろんだが、北小木などの里山のある場所の移住も、もっと強調してもいいのでは

施策7 公共交通の充実 事業①「ネットワーク型コンパクトシティのネットワークとなる公共交通の維持確保と移動手段の充実を図ります」

事業②「市民のニーズに合った見直しを行うなど、コミュニティバス運行により、中心市街地での快適な移動を確保します」

事業③「あいのりタクシー等、郊外地域内で移動を確保するための取組を支援します」

- ・定時定路線の交通では限界がある。高齢者等の移動手段の確保として重要であり、今後はデマンド交通の拡大が必要である
- ・デマンド交通の拡大には事業者、市、住民が協力しながら進めてほしい

施策8 道路・公園環境の整備 施策8「道路・公園環境の整備」
道路・公園環境の整備

事業⑦「遊具整備・施設の長寿命化を行い、誰もが楽しめる公園の整備を進めます」

- ・遊具の整備は重要である。現状はどうしても他市の公園遊具のほうが魅力的と感じてしまう。そういったイメージを払しょくできる整備をしてほしい

施策9 都市景観の形成 事業①「風景づくり計画等に基づき、良好な都市景観を形成します」
都市景観の形成

事業②「国と協力して土岐川右岸記念橋上流部を中心に、かわまちづくり事業を推進します」

- ・多治見市は、バーベキューができる場所が少ない。また、山や川があるのに自然と触れ合える場も少ないと感じる。そういった場を提供できるようにしてほしい

施策11 空き家等対策 事業①「リフォームや取壊しの支援などにより、空き家などの住宅ストックの利活用を促します」
空き家等対策

事業②「危険空家等の除却を促進するとともにセミナー等により空家化を未然に防ぎます」

・空き家は今後大きな問題である。特に周辺の住環境を守っていくよう努めてほしい

政策の柱の「基盤」 行財政改革の推進

施策1 事業②「市税等の収納方法の多様化や徴収事務の強化により、収納率を維持・向上し健全な財政

運営 ・金融機関の手数料引き上げ等について、市民へ周知し、経費削減につなげるべき
事業③「企業版ふるさと納税を活用し、財源確保に努めます」
・「企業版ふるさと納税」の制度説明は加えなくて良いか

施策3 事業①「公共施設適正配置計画に基づき、施設の統合・複合化、転用、廃止等を進め計画的な施

設管理 ・建物が複合化された後も、各々が独立している。建物だけでなく、機能についても市民負担を減らせるよう改善されると良い

事業③「新庁舎を駅北庁舎隣接地に建設します」

事業④「本庁舎の跡地活用を検討します」

事業⑤「新庁舎建設を契機に、多治見駅周辺の駐車場の整備を検討します」

・デジタル化の推進を踏まえ、「来なくても良い市役所」を視野に検討いただきたい

施策4 事業②「行政サービスのデジタル化を推進し、住民の利便性向上を図ります」

デジタル化の推進 ・デジタル化の具体的なメニューは想定しているか

<グループ討議の終了>

会長 グループ毎に討議内容を発表いただく。

委員 (各グループ代表者が討議内容を発表)

会長 グループ討議及び発表を終了する。

4 その他

会長 その他連絡事項について、事務局より説明を求める。

事務局 第5回総合計画市民委員会は、8月2日(水)10時00分から本庁舎4階会議室にて開催する。頂戴したご意見は、今後の検討材料にさせていただく。基本計画(骨子案)に関するご質問は、7/18(火)までに事務局へお寄せいただきたい。本日の会議録は、次回の委員会前にメールでお送りするので、ご確認願いたい。リモート参加のご希望があれば、前日までに事務局へご連絡いただきたい。

会長 全ての議題が終了したため、進行を事務局にお返しする。

事務局 本日はご意見をいただき、感謝申し上げます。第4回総合計画市民委員会を終了する。

<会議終了>